



# さんじょう

八戸市立三條小学校  
令和2年度学校だより  
第5号  
令和2年5月19日  
☎ 27-2216

## きまりを守って 安全・安心な生活を



校長 河村 雅庸

先週の朝、晴天にも誘われて、いつもの朝の見回りを少し長めにとり学校周辺の通学路を歩きました。すると、済んだ青空に響くように浅水川からはヨシキリの鳴き声が、また、駅西口とフラットアリーナをつなぐシンボルロードの両脇からはヒバリの鳴き声が聞こえてきました。その鳴き声はまるで楽しく合唱しているようで、学校の再開をともに喜んでいるようにも感じました。保護者・地域の皆様方には御健勝のことと存じます。

学校が再開し第3週目に入りました。今週も元気に登校してくる子どもたちの活気で、学校が朝、気持ちよく目覚めているように感じられます。そして、子どもたちの熱気あふれる姿も輝いています。今週も新型コロナウイルス感染症対策をとりながら教育活動を進めているところですが、そのような中においても、子どもたちの安全や緊急時の対応に関わることにについては、できるだけ早めに実施する必要があります。先週には、交通安全教室と緊急時引き渡し訓練を実施しました。

14日（木）に実施した交通安全教室では、テレビ放送を使って、駅前交番の金澤所長さんにお話をいただきました。所長さんからは、「今日は命の勉強です。事故に遭わないように」という言葉に続き、「目と耳をよく使って歩くようにしましょう。」と教えていただきました。『目は、遠くを見る、まわりを見る。』『耳は、車が来る、自転車が来る音を聞く。』ということだそうです。また、道路を歩いているときに気を付けることとして、『遊ばない・ふざけない・飛び出さない』の三原則についても教えていただきました。テレビ放送の後には、交番の所員さんとPTA安全委員会の方々が見守る中、1年生が外に出て歩行練習を行いました。



また、15日（金）には「緊急時引き渡し訓練」を実施しました。当日は、感染症対策のために出口を体育館に変更したりするなど急な変更もありましたが、保護者の皆様のご理解・ご協力で、安全に引き渡しを行うことができました。今後、引き渡しを行うような事態が無いことが一番ではありますが、有事の際には今回の訓練を生かして、子どもたちの安全最優先の取組を進めていきたいと考えています。

ところで、緊急時引き渡し訓練の際、ある保護者の方から子どもたちの遊び方についてお話をいただきました。臨時休校が長くなり、新学期スタートに合わせた指導が滞ったこともあり、子どもたちへの共通の指導が不十分でありました。さっそく、生徒指導主任が放送で全校への指導を行いました。あわせて、挨拶を頑張ることについても触れました。ご家庭でも話題にさせていただくことで効果が上がると思いますので、どんな話だったのかお子さまに聞いてみてくださいと思います。

また、同じく、引き渡しに来校された保護者のある方から、3月から先日まで続いた臨時休業中の学校の対応について、励ましの言葉をいただきました。大変ありがたく思うとともに、これからも様々な形で学校のこと、子どもたちのがんばりについて情報発信しながら、保護者・地域の皆様と力を合わせ、子どもたちの安全・安心な生活を築く学校づくりを進めて参ります。